

京都市では、男女がともにいきいきと働くことができる職場づくりに取り組んでいる事業者を登録し、その取組を応援しています。このうち、特に意欲的な取組を行っている平成20年度表彰事業者2社を紹介します。

「きょうと男女共同参画推進宣言」 事業者登録制度

女性がより一層活躍できる職場環境を整え 能力開発とキャリアアップを支援

従業員の働きがいを高めていくことを目的に、平成19年4月からスタートした「女性キャリアサポートプロジェクト」。このプロジェクトにより、仕事と家庭生活の両立支援、能力開発、再雇用の3つの側面から諸施策を総合的に推進しています。取組を担当し、男性初の育児休業取得者でもある人事部長代理南出貴志さん、女性管理職3名にお話をうかがいました。

「ながーいおつきあい」というCMでお馴染みの京都銀行。「飾らない銀行」をキャッチフレーズに、地域に根ざした金融機関として、また広域型地方銀行として京都府に隣接する他府県にも進出しています。

現在、従業員の約4割は女性。以前から従業員が意欲・能力を十分に発揮して活躍できる職場環境を整備してきましたが、近年、特に女性がより働きやすい環境づくりを積極的に進めています。「仕事と家庭のどちらも大切にしたい」という女性行員の声に応えるため、これまでの制度を整理し、平成19年4月には仕事と家庭生活の両立支援、能力開発、再雇用の3つの施策を総合的に推進する「女性キャリアサポートプロジェクト」を立ち上げました。このプロジェクトにより、継続勤務しやすい職場環境を整備し、職域拡大や女性の管理職登用を推進しています。

従業員が働き続けるうえで大きな問題となるのが仕事と家庭生活の両立。その両立支援の取組を担当する人事部長代理南出貴志さんは、男性初の育児休業取得者でもあります。「育児の大変さ、妻の存在の大切さを実感できたこと、これは仕事のモチベーションにつながっています」と自身の体験を振り返ります。

京都銀行では、最長で子どもが4歳になるまで育児休業を取得できます。休業中のサポートとして、パソコンを使った自主学習システムの活用など職場復帰支援プログラムも用意されています。また、出産や育児等で退職した行員を対象とした再雇用制度を設け、正社員として復帰できるようにしています。「再雇用された行員は、一旦、外から銀行を見ていたので、よりお客様に近い視点を持って仕事ができると期待しています」と南出さんは言います。

「女性キャリアサポートプロジェクト」を立ち上げ

性別に関係なく、柔軟な働き方ができる職場へ



株式会社京都銀行

設立
1941年(昭和16年)10月1日
資本金
365億円
代表者
取締役頭取 柏原康夫
従業員数
3,705名
本社
〒600-8652
京都市下京区烏丸通松原上る
薬師前町700
URL
<http://www.kyotobank.co.jp/>

